

第1回

直売所チャレンジ・オンラインフォーラム

テーマ 直売所が挑戦する、新たなサービス・商品づくり

日時 2021年 5月27日(木)14:00~17:00



主催 全国農産物直売ネットワーク
後援 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

第1回 直売所チャレンジ・オンラインフォーラム プログラム



14:00 開会挨拶 全国農産物直売ネットワーク 代表 染谷 茂
「かしわで」会長（千葉県柏市）

14:10 報告 コロナ禍の直売所アンケート結果報告
全国農産物直売ネットワーク 事務局長 森岡 亜紀

14:20 第1部 事例紹介（90分）

14:30 ① 「平均客単価4千円。直売所発・宅配サービスの可能性」
～コロナ禍で需要が高まる食品の個別宅配。先駆的に進めてきた道の駅のノウハウ～
道の駅しもつけ 駅長 後藤 勲（栃木県下野市）

15:00 ② 「飲食店や旅館との連携・新商品の開発」
～観光立地で苦戦する直売所が挑戦する、新たなサービス・集客の仕掛けづくり～
(株)たくみの里 代表取締役 西坂 文秀（群馬県みなかみ町）

15:30 ③ 「中泊町特産物直売所ピュア 貨客混載事業への取組」
～極寒の地で進める、地元バス会社と直売所の地域貢献型連携事業の進め方～
中泊町特産物直売所ピュア 店長 前田 晴香（青森県中泊町）

第1回 直売所チャレンジ・オンラインフォーラム プログラム

※休憩時間中に、GW中の「道の駅ましこ」(栃木県益子町)、「道の駅八千代」(千葉県八千代市)の店内の動画を配信します。

16:00 第2部 フリートーク (40分) 「直売所の挑戦・見えてきた課題」

・スピーカー

産直あぐり 店長 叶 野 由 佳 (山形県鶴岡市)

農事組合法人クラフト 代表理事 周 郷 崇 (道の駅やちよ／千葉県八千代市)

道の駅クロスロードみつぎ野菜市 会長 綾 目 文 雄 (広島県尾道市)

・コーディネーター

全国農産物直売ネットワーク 副代表 山 口 成 美
(「おおむら夢ファームシュシュ」代表／長崎県大村市)



16:50 閉会挨拶 全国農産物直売ネットワーク 副代表 木 村 則 夫
(「きてら」「秋津野ガルテン」代表／和歌山県田辺市)



17:00 閉会・次回のインフォメーション

※次回は9月中旬を予定。皆様にアンケートをお送りしますので、ご希望のテーマがあればお答えください。

事例①「平均客単価4千円。直売所発・宅配サービスの可能性」

～コロナ禍で需要が高まる食品の個別宅配。先駆的に進めてきた道の駅のノウハウ～

道の駅しもつけ 駅長 後藤 勲（栃木県下野市）

本日のポイント

1. なぜ宅配サービスを始めたのか（平成26年10月～）
道の駅に来たくても来れない、市内の高齢客向けサービスとしてスタート
2. 宅配サービスの課題と問題
経費がかかる中、対応件数は限られる。高齢客の対応には時間も要する
3. 宅配サービスの実施経過について
初年度は週2日、現在は定休日を除き毎日対応。コロナ禍で利用者が倍増
4. 宅配サービスの流れについて ～お客様からの受注から配達まで～
商品カタログは作るが、電話注文で店にあるすべての商品を届ける
5. 今後の展望 ～若い顧客の開拓を視野に～
キャンプ場へのアウトドア食材セットの配達、ネット注文の受付による新たな顧客確保

事例紹介① (株)道の駅しもつけ

●所在地 〒329-0431 栃木県下野市薬師寺3720-1 ●電話:0285-38-6631 ●FAX:0285-38-6632

●ホームページ<http://www.kanpi-shimotsuke.co.jp/> ●メールyuugao@kanpi-shimotsuke.co.jp

- 運営組織 (株)道の駅しもつけ 代表取締役社長 広瀬 寿雄(下野市長)
- 活動開始 平成23年3月26日 ●定休日 毎月第1、第3水曜日 1/1~1/3 ●営業時間 9:00~18:00
- 売場面積 33.000㎡ ●駐車場台数336台(大型40台・普通車296台)
- 従業員 正職員10名 パート・契約社員53名 ※ふれあい館、三王山ふれあい公園を含む
- 事業内容
 - ・物産施設 契約出荷者310(個人・法人)
 - ・加工施設 施設内厨房で弁当・惣菜・スイーツ等を製造。製造アイテムは180種。
 - ・テナントショップ パン、菓子、たこ焼き、から揚げ、栃木県漁協、レストラン2店、スターバックス
 - ・コミュニティ施設・体験学習室の貸出し
- 直売施設 契約生産者170名
 - ・出荷者協議会・品質向上委員会に加入し、道の駅しもつけと契約(年会費5,000円)
 - ・道の駅からは毎年20万円の協賛金を支出し、これでイベントの運営や視察研修費用を補填。
- 販売手数料 農産物16% 加工品20%(市内外問わず)
- 売れ筋生鮮品 イチゴ、ほうれん草、トマト、きゅうり、にんじん、梨、大根、アスパラ、キャベツ、トウモロコシ
- 売れ筋加工品 幕の内弁当(和・洋・中)、満足バーガー、出荷者提供品(赤飯、団子、饅頭、おこわ、惣菜各種)
- 令和元年度 年間販売額 167,500(万円)



事例② 「飲食店や旅館との連携・新商品の開発」

～観光立地で苦戦する直売所が挑戦する、新たなサービス・集客の仕掛けづくり～

(株)たくみの里 代表取締役 西坂 文秀（群馬県みなかみ町）

本日のポイント

1. たくみの里の今 ～農村の体験・交流型施設の直売所が受けた影響～
2. コロナ禍だからこそできることを、必死に考えた
～地元客、地元の生産者・事業者との一層の連携強化～
3. たくみの里の挑戦
 - ①ネットショップを本格展開 ～町内道の駅、事業者、旅館とのコラボ商品～
 - ②弁当配達事業を開始 ～近隣飲食店の弁当のデリバリーサービス～
 - ③今だからできる新商品開発 ～地場産物を用いた自社製造商品の強化～
 - ④地域内連携で商品開発 ～学校・旅館・福祉施設 との連携事業～

その他、オンラインでショッピング、リモート体験など様々なチャレンジが進行中

事例紹介② 道の駅 たくみの里

●所在地 〒379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川847 TEL.0278-64-2210 FAX.0278-64-2220

●<https://takuminosato.jp/> ●Email: info@takuminosato.jp

●運営組織 (株)たくみの里 代表取締役社長 西坂 文秀
※道の駅の指定管理者は(一財)みなかみ農村公園公社。公社と(株)たくみの里の共同事業として運営。

●活動開始 1985年～(道の駅登録は2005年～)

●定休日 年中無休 ●営業時間 9:00～17:00(夏季) 9:00～16:00(冬季)

●売場面積 約300㎡ ●駐車場台数 約150台

●従業員 正職員15名 パート・契約社員36名 ※3施設含む

●事業内容 ・物販体験交流施設 たくみの里の事業運営(物販・体験・加工・飲食)
～東京ドーム約70個分(330ha)にわたるたくみの里に、木工、竹細工、和紙などの様々な手作り体験
(20種類以上)の体験工房が点在する。年間50万人前後の観光客が訪問している～
・果樹観光農園「フルーツランドモギトーレ」の事業運営(物販・体験・加工・飲食)
・奥平温泉施設「遊心館」の運営(日帰り温泉施設)

●直売施設 登録生産者約180名

●令和元年度 年間販売額約9,000(万円) 直売部門

●販売手数料 農産物18% 加工品20% その他



事例③ 「中泊町特産物直売所ピュア 貨客混載事業への取組」

～極寒の地で進める、地元バス会社と直売所の地域貢献型連携事業の進め方～

中泊町特産物直売所ピュア 店長 前田 晴香（青森県中泊町）

本日のポイント

1. 直売所ピュアの運営概要
2. 直売所ピュアが進めてきた挑戦① ～野菜の集荷事業～
3. 直売所ピュアが進めてきた挑戦② ～移動販売の拡大～
4. 新たな挑戦 ピュアと小泊地域を結ぶ貨客混載事業
～実施までの経過とこれからの課題～

事例紹介③ 中泊町特産物直売所ピュア

●所在地 〒037-0309 青森県北津軽郡中泊町大字八幡字日向334

TEL:0173-57-5054 FAX:0173-57-5053

●E-mail:sanchoku-pure@bz04.plala.or.jp ●<https://ja-jp.facebook.com/SanchokuPure/>

●運営組織 株式会社アクトプラン(指定管理者)

●活動開始 平成25年6月リニューアルオープン ●定休日 年末年始1月1日～3日(3日間のみ)

●営業時間 9:00～18:00(夏季) 9:00～17:00(冬季)

●売場面積 324㎡ ●駐車場台数50台

●従業員 2名 パート6名

●生産者組織 中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会 登録者数248名 (年会費3,000円)

※常時出荷者 夏季:80～100名程度 冬季:40～70名程度

●販売手数料 町内生産者10%・町外生産者15%(いずれも冷蔵庫使用の場合は+5%) 業者:20%～

●売れ筋生鮮品 トマト、山菜、海産物

●売れ筋加工品 漬物、惣菜

●令和元年度 年間販売額17,200(万円)

